

佐潟再生事業について

1 概要

佐潟周辺自然環境保全計画に基づき、富栄養化している佐潟の水質改善を図るため、様々な方法を検討し、人の手を加えながら佐潟の再生を目指す。

2 ヨシ刈り、「ど」の再生・整備

(1) 実施結果

- 実施日：平成28年10月7日(金)～9日(日)
- 実施状況：別紙地図の通り
- 実施結果
 - ・平成27年に引き続き、約2haのヨシ刈りや「ど」(水路)の整備を行った。
 - ・ヨシ刈り地に隣接する、杉林の除伐・下草刈り等の整備を行った。

(2) 平成29年度実施予定

- 地元関係者と協議しながら、平成28年度同様にヨシ刈り、「ど」の再生・整備の実施を検討

3 水門ドロばきの開閉試験

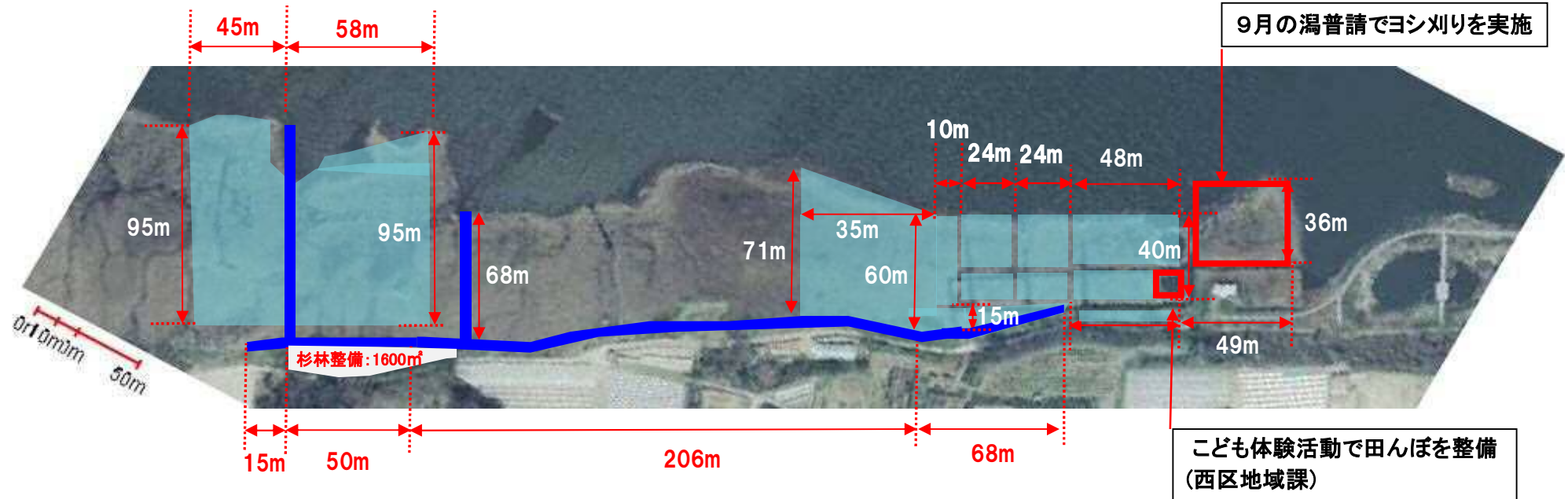
(1) 実施結果

- 試験内容：ドロばきを全開にした前後で、懸濁物質や有機物を含んだ湖水がどの程度排水されるか計測した。
- 測定項目：下記の2項目を測定
 - ①懸濁物質(SS)：水中に浮遊する粒子径2mm以下の不溶解性物質を測定し、重量濃度(mg/L)で表したもの
 - ②強熱減量：土壌や鉱物中に含まれる揮発性物質(主に有機物)の質量を強熱減量試験による質量の減少率から算出したもの(単位：mg/L)
- 試験日：下記2回測定した
 - ①平成28年12月20日(天候：曇りのち雨)
 - ②平成29年3月6日(天候：晴れ)
- 試験結果
 - ・測定状況及び測定結果は別紙のとおり
 - ・ドロばきを全開にした前後では2項目の測定値は大きく変化しなかった。
 - ・ドロばきを全開後、水門上流側で攪拌すると測定値に変化が見られた。
 - ・攪拌した直後で採水したものとドロばき通過後で採水したものとでは、2項目とも値が減少しており、攪拌により巻き上がった湖底の泥などがすべて水門を通過するわけではないことが分かった。

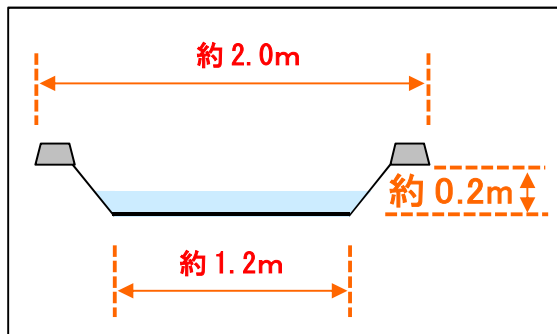
(2) 今後の有効活用について

- 地元関係者と相談しながらドロばきを定期的の開門する機会をつくる。
- ドロばきの開閉や、佐潟の水位管理の再検討など、地元関係者との学習会や意見交換などをすすめていく。

【平成28年度ヨシ刈り実施結果】



【「ど」の基本寸法】



	H27 年度実績	H28 年度実績
ヨシ刈り面積	1.7638ha	1.7018ha
別地点ヨシ刈り面積※	0.04ha	-
「ど」整備面積	0.1006ha	0.1006ha
杉林整備面積	-	0.1600ha
計	1.904ha(約2.0ha)	1.962ha(約2.0ha)

※：赤塚商工会後ろ側の湿地周辺遊歩道(200m)の道の両側(2m)を刈り取り

【試験1：平成28年12月20日測定】

○時間：午前9時40分～11時10分，天候：曇りのち雨

○採水箇所および採水時間

①	9:40
全開	9:50
②	9:55
③	10:45
④	10:50
閉門	11:10



表. 測定結果

	SS(懸濁物質)(mg/L)	強熱減量(mg/L)
①	72	78
②	78	80
③	78	80
④	72	-

【試験2：平成29年3月6日測定】

○時間：午後1時～2時，天候：晴れ

○採水箇所および採水時間

①	13:00
全開	13:05
②	13:40
攪拌開始	13:45
③	13:50
攪拌終了	13:50
④	13:55
閉門	14:00



表. 測定結果

	SS(懸濁物質)(mg/L)	強熱減量(mg/L)
①	59	82
②	80	90
③	330	175
④	150	111